

2009年10月6日
株式会社ビットウェイ

ビットウェイは台湾にてケータイマンガ配信事業を開始します。 ～フランス、香港に続く、海外向けケータイマンガ配信サービス第3弾～

株式会社ビットウェイ(本社: 東京都台東区、代表取締役社長: 小林 泰、以下ビットウェイ)は、海外における携帯マンガ配信サービスの第3弾として、フランス、香港に次いで、台湾で携帯マンガ配信を2009年10月6日より開始致します。

台湾において、ビットウェイは、ソフトバンクグループのリアライズ・モバイル・コミュニケーションズ株式会社を通じて、まず携帯キャリアの遠傳電信股份有限公司 (Far EastTone Telecommunications)の公式サイト「遠傳e漫画二館」にて、携帯マンガの配信サービスを行います。

台湾では、ビットウェイの統合ビューアアプリケーションを利用することで、株式会社セルシスと株式会社ボイジャーの「BookSurfing」フォーマットならびに、シャープ株式会社の「XMDF」フォーマットを利用したマンガを閲覧することが可能となります。

また、台湾へは、ビットウェイが管理・運営する海外取次システムより配信されます。この海外取次システムは、ビットウェイが3年の実績を持つ国内電子書籍取次事業におけるこれまでのノウハウを活用し、効率性および安全性の高いデータ管理、配信・売上管理を可能にします。コンテンツファイルは国内サーバーから直接海外読者の携帯電話にストリーミング配信されます。

当初配信コンテンツは、集英社の人気タイトル「ドラゴンボール」、「NARUTOーナルトー」、「DEATH NOTE」、「ONE PIECE」、「花より男子」、「Dr.スランプ」の他、祥伝社「ハッピー・マニア」や白夜プラネット「DOOR」を提供致します。

また、ビットウェイは、現地の城邦文化事業股份有限公司尖端出版による原作漫画のコンテンツを、ビットウェイの海外取次システムを使って現地に配信いたします。将来的には海外原作漫画のコンテンツを日本国内でも配信していくことを検討しております。

今後年内には、台湾の携帯キャリアである中華電信股份有限公司(中華電信)と台湾大哥大股份有限公司(台湾モバイル)にも順次配信を開始する予定です。

ビットウェイは、より多くの出版社様が安心してコンテンツ提供ができるように、コンテンツ流通プラットフォーム(ビューアアプリケーション※1 と、コンテンツ配信システム※2)の整備に注力しながら、配信事業のエリアを拡大してまいります。

※1: 2009年6月11日当社リリース「電子書籍統合ビューアアプリケーション」参照

※2: 2009年6月11日当社リリース「電子取次システムを開発し、フランスにて本格的にサービス開始」参照

【参考資料】

サービスフローイメージ

「遠傳 e 漫画二館」
WAP 書店トップ

ビューアアプリ



ドラゴンボール©鳥山明・バードスタジオ/集英社
NARUTO-ナルト-©岸本斉史 スコット/集英社
DEATH NOTE©大場つぐみ・小畑健/集英社
ONE PIECE©尾田栄一郎/集英社
テニスの王子様©許斐剛/集英社

【参 考】

社 名：株式会社ビットウェイ

U R L：http://www.bitway.co.jp/

所 在 地：東京都台東区台東 1 丁目 5 番 1 号

代 表 者：代表取締役社長 小林 泰

事業内容：デジタルコンテンツの仲介によるキャリアおよびポータルサイトからの収益事業

※ 本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

E-MAIL:press@bitway.ne.jp
